

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成19年10月20日 第24号

CONTENTS

1 コラム

【1】『国産材の利用に追い風』（榎本企画課長）

2 施策紹介

【1】特用林産物の生産動向

3 当庁の動き

【1】平成19年度間伐・間伐材利用コンクールについて

【2】間伐推進強化期間の取組について

【3】平成19年度「木づかい推進月間」について

【4】第6回「森の“聞き書き甲子園”」参加高校生と「森の名手・名人」の組み合わせの決定について

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

5 その他の情報（イベント情報等）

イベント情報

【1】第46回農林水産祭「実りのフェスティバル」

【2】第23回ふるさと食品全国フェア

【3】ウインターリゾート2008

お知らせ

【1】美しい森林づくりニュースメールマガジン配信中

【2】林業退職金共済制度の御紹介

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 コラム

【1】『国産材の利用に追い風』（榎本企画課長）

今回は、榎本（えのもと）企画課長より『国産材の利用に追い風』と題して、国産材を取り巻く状況についてお話しします。

最近、BRICS諸国をはじめ経済成長が著しい国々では木材の需要が旺盛で、世界

全体の木材需要は増加傾向にあります。また、ヨーロッパから輸入される木材を中心に価格が上がっており、日本の木材需給を取り巻く海外の状況は急激に変化してきています。

一方で、我が国においては、戦後植えられた木が育ってきて利用が可能な森林が増えていきます。また、間伐した細い木でも合板などに利用できる加工技術が開発され、国産材を利用する動きが活発になってきています。

こうした中、用材（木材）の自給率は、平成 16 年 18.4 %、平成 17 年 20.0%、さらに平成 18 年では 20.3 %と推移しています。

今後、充実しつつある我が国の森林を資源として有効に利用しながら、健全で多様な森林へと育てていくためには、この追い風が吹いている間に、合板や集成材などの新たな需要に対して木材を安定的に供給するための体制を確立し、国産材の利用拡大を軸として林業・木材産業の再生を図ることが重要です。このことは、また、山村地域の活性化にもつながっていきます。

このため、木材生産の機械化を進めるための作業道などの整備や、集約的な作業を行うための森林所有者の合意のとりつけ、木材製品の品質の向上などを進めていく必要があります。また、我が国は古来から「木の文化」を培ってきております。木の良さを再認識いただき、国産材を日常生活の中でもっと使っていただけるような取組も必要と考えます。

まだまだ、我が国の森林・林業・木材産業を取り巻く状況は厳しいですが、この追い風を確かなものとし、未来に向けて豊かな森林を残していかなければ、と考えています。

## 2 施策紹介

### 【1】特用林産物の生産動向

特用林産物とは、食用とされる「しいたけ」、「えのきたけ」、「ぶなしめじ」等のきのこ類、樹実類、山菜類等、非食用のうるし、木ろう等の伝統的工芸品原材料及び竹材、桐材、木炭等の森林原野を起源とする生産物のうち一般の木材を除くものの総称です。

これらの生産は、農山村における地域資源を活用した産業の一つとして、地域経済の安定と就労の場の確保に大きな役割を果たしています。

林野庁では、農山村の生産活動に大きく寄与している特用林産物について、各品目ごとに毎年調査を行い、特用林産物の生産量、生産額の動向について公表しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/policy2/tokusan/top.htm>

## 3 当庁の動き

### 【1】平成 19 年度間伐・間伐材利用コンクールについて

間伐推進中央協議会（森林・林業に係る 17 団体で構成）は、間伐の実施及び間伐材の利用に係る斬新かつ積極的な取組の普及を図るため、平成 12 年度から「間伐・間伐材利用コンクール」を実施しております。

本年 10 月 1 日に開催された同コンクール審査委員会（審査委員長：木平勇吉東京農工大学名誉教授）において、平成 19 年度の受賞者が下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kanbatu/071015.html>

## 【 2 】 間伐推進強化期間の取組について

現在、間伐等の適切な実施や多様な森林づくりの推進を目的として「美しい森林づくり推進国民運動」を官民一体となって展開しています。

林野庁では、10 月、11 月を「間伐推進強化期間」として設定し、間伐推進中央協議会等と連携して以下の取組を実施しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kanbatu/071001.html>

## 【 3 】 平成 19 年度「木づかい推進月間」について

地球温暖化防止と美しい森林づくりの推進に向け、国産材の利用の意義を国民に幅広く訴えるため、林野庁では「木づかい運動」に取り組んでいます。

集中的な普及啓発活動を実施するため、10 月を「木づかい推進月間」とし、シンポジウムの開催等の様々な取組を実施しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/070927.html>

## 【 4 】 第 6 回「森の“聞き書き甲子園”」参加高校生と「森の名手・名人」の組み合わせの決定について

「森の“聞き書き甲子園”」は全国の高校生 100 人が「森の名手・名人」の技や人となりを「聞き書き」し、その成果を発信するものです。

平成 14 年度よりこれまでに 5 回実施され、次代を担う高校生と「森の名手・名人」との世代を超えた交流を通して、伝統技術の発掘・伝承、森づくりに対する理解の醸成、地域活性化、青少年の健全育成が図られています。

このほど、参加高校生と「森の名手・名人」組み合わせが決定致しましたのでお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/070921.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

## 4 緑化に関する情報

### 【1】森林ボランティア活動情報

#### 森林ボランティア活動の情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。

(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

「森づくりコミッション」を公募しています！

企業やNPO等が森づくりに参加しやすい環境をつくるため、各地域の森づくり活動支援組織「森づくりコミッション」( )の登録を(社)国土緑化推進機構で公募しています。

第1回の締め切りは10月19日(金)、第2回の締め切りは平成20年1月18日(金)となっています。

(森づくり活動支援組織「森づくりコミッション」とは、森林ボランティア活動等について、森林ボランティア団体、森林所有者や関係機関等の間の橋渡しや企画・提案などを行う組織です。)

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/>

## 5 その他の情報 (イベント情報等)

### イベント情報

#### 【1】第46回農林水産祭「実りのフェスティバル」

今年も、実りのフェスティバルが東京ビックサイトで開催されます。

政府展示コーナーにおいて林野庁も出展しております。

また、全国の特産物も集まりますので是非おいで下さい。

開催日 平成19年11月2日(金)・3日(土) 10:00～17:00

場 所 東京ビックサイト(西3ホール)

主 催 (財)日本農林漁業振興会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.affskk.jp/sub3.htm>

## 【2】第23回ふるさと食品全国フェア

ふるさと食品全国フェアに林野庁から美しい森林づくり推進国民運動と木づかい運動の紹介をするブースを出展します。

興味のある方は是非御来場下さい。

開催日 平成19年10月31日(水)～11月2日(金)10:00～17:00

場 所 東京ビックサイト(東ホール)

主 催 (財)食品産業センター

詳しくは、こちらをご覧ください。

[http://www.shokusan.or.jp/index.php?mo=topics&ac=TopicsDetail&topics\\_id=235](http://www.shokusan.or.jp/index.php?mo=topics&ac=TopicsDetail&topics_id=235)

## 【3】ウインターリゾート2008

各地スキーリゾートの紹介や、さまざまなイベント・グッズの販売等が行われます。

開催日 平成19年11月2日(金)～11月4日(日)

場 所 池袋・サンシャインシティ コンベンションセンター  
展示ホールB・C 他

主 催 ウインターリゾート実行委員会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.sunshinecity.co.jp/winterresort/about/about.html>

お知らせ

### 【1】美しい森林づくりニュースメールマガジン配信中

林野庁では、「美しい森林づくりニュースメールマガジン」を9月12日から配信しています。

美しい森林づくり推進国民運動に関する展開活動等を紹介しています。

新規に配信を希望される方は次のホームページアドレスにアクセスして下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/reg.html>

### 【2】林業退職金共済制度の御紹介

林業退職金共済制度は、林業で働く人たちのために法律に基づいて国が作った退職金制度です。

林業を営む事業主が、雇用している従事者の働いた日数分に応じて掛金を納めることによって、その従事者が林業界を退職したときに、それまでの掛金を通算して退職金を支払うという、いわば「業界全体での退職金制度」です。

事業主が払い込む掛金は、全額非課税となることや新規に加入した従事者については、掛金の一部が免除されるなどのメリットがあります。

また、林退共は、林野庁がすすめている緑の雇用などによる新たな林業の担い手確保を応援しています。

この機会に、林業従事者の労働環境の改善や定着等に向けて、加入をお願いします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/>

#### 編集後記

10月になりました。9月の残暑が嘘のように10月に入って気温が下がり過ごしやすい季節となりました。

もう少しすると関東でも紅葉が見頃となり、紅葉狩りに出かける方もおられると思います。

今の季節は、戸外で活動するには良い季節ですが、昼と夜との寒暖の差が激しいこともあります。服装に十分気をつけられて楽しんで頂きたいと思います。

イベント情報でも掲載しましたが、11月に入ると農林水産祭等のイベントが開催されます。各地の物産等が展示・販売されますので、是非ご参加下さい。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

#### ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、

「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

#### 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室

TEL 03-3502-8026

E-mail :

[https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM\\_NO=82](https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82)

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手續及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手續をお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>